

平成29年度 第3回和光市自立支援協議会 計画策定部会 会議録（要録）

- 1 日時 平成29年11月29日（水） 13時30分～14時55分
 2 場所 和光市役所4階 研修室
 3 出席者 7名

	所属等	委員名
部会長	和光市自立支援協議会委員 （十文字学園女子大学教育担当 副学長）	佐藤 陽
副部会長	国立保健医療科学院 主任研究官	松繁 卓哉
委員	和光市自立支援協議会委員 （和光市心身障害児・者を守る会 副会長）	深野 正美
委員	和光市自立支援協議会委員 （和光市身体障害者福祉会 副会長）	下川 初江
委員	和光市自立支援協議会委員 （和光市社会福祉協議会）	野川 希代子
委員	和光市自立支援協議会委員 （公募委員）	齋藤 順子
委員	和光市自立支援協議会委員 （チャレンジド団体連絡協議会）	高田 奈歩

（事務局）東内保健福祉部長

社会援護課 内田統括主査、三澤主査、濱口主任

地域包括ケア課 阿部課長、飯田統括主査、富澤主任

- 4 傍聴者 9名

1 第五次和光市障害者計画・第5期和光市障害福祉計画の策定（素案）について

① 第1章「計画策定にあたって」～第4章「施策の展開」について

事務局説明

資料1 和光市第五次障害者計画・和光市第5期障害福祉計画（素案）

【高田委員】「チャレンジド」と「障害者」という表現が混ざっているが、基本的にはわかりやすく統一した方がよい。また、ニーズやシームレスなど横文字であり一般的でない言葉をわかりやすく注記した上でいろいろなページを見なくて済むようにまとめて欲しい。

【内田統括】他の委員さんからも同様な意見が出ているので、書き方や構成等をわかりやすくなるようにブラッシュアップして修正していく。

【深野委員】「外出支援サービスの充実」の欄で「廃用症候群」という言葉を使っている

が高齢者の発想であるため、この言葉の使用が適切であるか再考していただきたい。

【野川委員】まず1点目は「チャレンジド」という言葉を和光市では前向きな捉え方で使用していることを明記し、「障害者」という言葉としっかり住み分けをして表現すると良いのではないか。2点目は「福祉コミュニティの創造」について、地域福祉計画の中で地区社協の推進を進めているので、そちらと連動するような表記にすると良いのではないか。3点目は「福祉教育の充実」について、社協ボランティアセンターやボランティア連絡会では、「福祉教育」という言葉を使用する場合、「福祉共育」と使用している。和光市内では、共に生きる教育が浸透してきているため、施策として使用する場合は「教育」になると思うが、実際に学校等で展開していく時には「共育」という表現を入れていただくとありがたい。4点目は「事業者へのヒアリング」を新たに明記していただいているので、今後の計画にはぜひ行っていただきたい。

【内田統括】書き方や表現の仕方等は検討していく。また、事業者や障害者団体などのヒアリングについては、本計画に反映させるために12月上旬から中旬にかけて行いたいと考えているので、協力をお願いしたい。

② 第5章「障害福祉サービスの量の見込みと確保策」～第6章「地域生活支援事業」について

事務局説明

資料1 和光市第五次障害者計画・和光市第5期障害福祉計画（素案）

【深野委員】事前配布資料と当日配布資料でページ数が変わっているため、わかりにくいので、今後はわかりやすい対応をお願いしたい。

【内田統括】見込み量については、今後の事業者や障害者団体等のヒアリング、さらなる数字分析を行い、ブラッシュアップした形で次回開催予定の自立支援協議会で報告していく。

③ 第7章「成年後見制度の利用促進」～第8章「グランドデザイン」について

事務局説明

資料1 和光市第五次障害者計画・和光市第5期障害福祉計画（素案）

【野川委員】医療型児童発達支援について、総合児童センターの建替えに伴う素案を確認した際に中央エリアとあったが、障害の計画では北エリアとなるのか。

【東内部長】北エリアには、福祉型の児童発達支援を計画している。医療型を含む所で

は、広沢の国有地利活用で保健センターの再編・建替え、認定こども園、児童発達支援センターを作っていく予定である。小茂根の医療センターのような鑑別のできる小児科を平成32年を目途に準備を進めていく。

【深野委員】今現在、小茂根に通っている方でもリハビリについては居住地域に戻るといって通えない人が多い。そういったことが可能になる施設を希望する。

【野川委員】新たにリハビリテーション病院が工事中だが、障害の分野は得意なのか。

【東内部長】急性期の後に行く回復期リハビリ病院を主として指定を受けている。今後、医療と介護を連携を取っていく上で、医療的ケア児や障害者へ枠が広がられるようにできる限りの調整は行っていく。

【下川委員】今後、事業所等へヒアリングをするということであるが、同行援護を利用したい時に利用できない現状が見受けられるので、対応をお願いしたい。

【 部会長 】ニーズ調査の分析や検証、事業所等へのヒアリングやこの部会での意見を通して、次回の自立支援協議会に諮るようお願いしたい。

2 その他

【野川委員】パブリックコメントなどの今後の計画に係るスケジュールを教えてください。

【内田統括】平成29年12月に自立支援協議会を行い、平成30年2月1日から20日までパブリックコメントを行う予定である。また、その期間中に市民説明会を北・中央・南エリアで行う予定である。その後、パブリックコメントの意見を反映させて、自立支援協議会に諮っていく。

【高田委員】現在入居中の施設において、人格を否定されるような暴言を言われた。自分で周りの家族等に伝えられればよいが、伝えられない人もいる。暴力は見た目で見えるが、言葉は形として残らないのでわかりにくい。辛い思いをしたので、そういったことがないような和光市にしてほしい。

【東内部長】早急を確認する。

次回会議について 自立支援協議会を平成29年12月に開催予定。